

第47回「感性研究フォーラム」講演会

ウェルネスと感性 (Part 2)

主催：繊維学会研究委員会「感性研究フォーラム」

協賛：一般財団法人日本繊維製品消費科学会、一般社団法人日本色彩学会、一般社団法人色材協会、
一般社団法人日本家政学会

日時：平成29年11月11日(土) 13:00~16:00

場所：大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）5階セミナー室

ドーンセンターへのアクセス：<http://www.dawncenter.or.jp/top/index.jsp>

京阪「天満橋」駅下車。東口方面の改札から地下通路を歩いて1番出口より東へ約350m。

地下鉄谷町線「天満橋」駅下車。1番出口より東へ約350m。

JR東西線「大阪城北詰」駅下車。2番出口より土佐堀通り沿いに西へ約550m。

マップ：<http://www.dawncenter.or.jp/shisetsu/map.html>

プログラム：

13:00 受付

13:30 開会挨拶

神戸松蔭女子学院大学 徳山孝子
(研究委員会「感性研究フォーラム」委員長)

13:30~14:30 コミュニケーションⅠ (講演)
『身体と感情をつなぐ「身体知性」』

神戸松蔭女子学院大学准教授・内科医 佐藤友亮

人間が社会生活を行う上では、予め答えが用意されていない問題（結婚、就職、起業など）について判断する能力（非分析的な判断能力）が不可欠です。この判断においては、人間の身体を介して形成される「感情」が重要な役割を果たしています。西洋文明で重視されている分析的判断と、それを補完する身体を介した非分析的判断の関係について「身体知性」をキーワードに、国内外の研究結果を交えてご紹介します。

参考資料：『身体知性 医師が見つけた身体と感情の深いつながり』（朝日選書）

14:30~15:30 コミュニケーションⅡ (講演)
『高齢者の栄養とウェルネス』

武庫川女子大学教授・栄養科学研究所長 福尾恵介

近年、高齢者人口が急増し、わが国は超高齢社会を迎えました。高齢者では骨格筋量が著しく低下しますが、骨格筋量の低下は、転倒や代謝異常を誘発し健康寿命を短くするさまざまな疾病の原因となります。そこで、骨格筋量の低下を防ぐための運動は高齢者のウェルネスを保つ上で重要です。しかし、栄養学的に問題があると、せっかく運動しても骨格筋量が増加せず、むしろ減少する場合があるため注意が必要です。本講演では、高齢者のウェルネスを高めるために必要な栄養学の基本的な知識について事例をもとにご紹介します。

15:30~15:40 休憩

15:40~16:30 コミュニケーションⅢ (パネルディスカッション)

司会 武庫川女子大学 名誉教授

横川 公子

パネリスト 武庫川女子大学 教授・栄養科学研究所長

福尾 恵介

神戸松蔭女子学院大学准教授・内科医

佐藤 友亮

(株)デサント R&Dセンター

藤原 一彦

定員：50名

参加費：一般 3,000円、学生 1,000円、研究委員会会員・協賛団体関係者 1,000円

申込：参加申込は必要ありません。当日、受付でお支払い下さい。

問合せ先：〒141-0021 東京都品川区上大崎3-3-9-208

一般社団法人繊維学会(内) 感性研究フォーラム事務局

TEL:03-3441-5627 FAX:03-3441-3260 E-mail:office@fiber.or.jp